



平成 27 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 27 年 10 月 30 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東  
 コード番号 3053 URL http://www.pepper-fs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210  
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 10 月 30 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 12 月期第 3 四半期の業績 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 12 月期第 3 四半期	11,295	89.4	333	△2.8	333	△1.6	152	△53.3
26 年 12 月期第 3 四半期	5,963	42.9	343	123.5	338	118.5	327	231.8

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27 年 12 月期第 3 四半期	16.58	16.28
26 年 12 月期第 3 四半期	37.75	36.86

(注) 平成 27 年 7 月 1 日効力発生日として 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27 年 12 月期第 3 四半期	5,975	2,065	34.6
26 年 12 月期	4,084	1,197	29.1

(参考) 自己資本 27 年 12 月期第 3 四半期 2,065 百万円 26 年 12 月期 1,188 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26 年 12 月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27 年 12 月期	—	15.00	—	—	—
27 年 12 月期(予想)	—	—	—	5.00	—

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っており、平成 26 年 12 月期の実績及び平成 27 年 12 月期第 2 四半期末実績につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 3. 平成 26 年 12 月期期末の配当金の内訳 普通配当 10 円 00 銭 復配記念配当金 10 円 00 銭

3. 平成 27 年 12 月期の業績予想 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,299	74.0	754	30.3	748	30.0	388	△22.7	42.15

- (注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 当社は、平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。1 株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	9,741,600株	26年12月期	8,863,200株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	63株	26年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	9,205,878株	26年12月期3Q	8,666,217株

(注) 平成27年7月1日効力発生日として1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費動向につきましては、実質所得に持ち直しの動きはあるものの依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、円安による原材料価格の高騰等の問題が深刻化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の下、当社は「お客様の感動創造を実現」を基本方針として、いきなり！ステーキ業態の出店拡大に取り組んでまいりました。また、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高11,295百万円（前年同期比89.4%増）、営業利益333百万円（前年同期比2.8%減）、経常利益333百万円（前年同期比1.6%減）、四半期純利益152百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、4月に行った一部商品の値上げの影響もなく、現在国内店は、平成24年11月から平成27年9月まで35ヵ月連続で既存店昨年対比100%超えを達成しました。また、7月1日よりペッパーランチダイナーUEN03153店を「いきなり！ステーキ」のメニューを取り入れ、座れる「いきなり！ステーキ」という新たなスタイルでリニューアルオープンいたしました。海外におけるペッパーランチ事業では、各店舗の売上は、引き続き好調に推移しており、新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などの売上は252百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,857百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は686百万円（前年同期比17.6%増）となりました。また、新規出店数は34店舗（うち海外31店舗）であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は334店舗となりました。

#### ② レストラン事業

レストラン事業につきましては、創業24年の炭焼きステーキくに新小岩店を全面改装し、「生本マグロ」やお店で原木からスライスする「パルマ産生プロシュート」等の新メニュー導入も行き、新たなイメージの店舗としてオープンいたしました。また、赤坂店、両国店の2店舗限定で月に1回行われている異業種交流会「美味しいステーキを楽しく食べるタベ」の継続的な開催により、ブランドイメージの向上を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,868百万円（前年同期比22.3%増）。営業利益は137百万円（前年同期比27.9%増）となりました。レストラン事業全体の店舗数は25店舗となっております。

#### ③ いきなり！ステーキ事業

いきなり！ステーキ事業につきましては、赤坂サカスで開催される夏の食イベント「TBSデリシャカス2015」（7月18日～8月30日）に映画「S-最後の警官- 奪還 RECOVERY OF OUR FUTURE」とのタイアップ企画店舗として出店し、TBS関係のメディアに多数取り上げられました。また、『肉マイレージカード』のランキング（総合、月間、重量）機能を持ったアプリをリリースし、来店頻度の向上に努めてまいりました。7月に広島府中店、8月には大阪あべのルシアス店等、引き続き地方への出店も行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,537百万円（前年同期比487.7%増）、営業利益は245百万円（前年同期比100.4%増）となりました。また新規出店は33店舗であり、いきなり！ステーキ事業全体の店舗数は62店舗となっております。

#### ④ 商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」及び「冷凍ハンバーグ」に加えて「牛たん」の販売も新たに開始し、新規お客様の獲得目指し、ネット販売を中心に行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は31百万円（前年同期比36.4%増）、営業損失は2百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて1,891百万円増加し5,975百万円になりました。これは主に、現金及び預金が537百万円増加したこと、建物が824百万円増加したこと並びに敷金及び保証金が307百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べて1,022百万円増加し3,909百万円となりました。これは主に、買掛金が664百万円増加したこと、借入金が231百万円増加したこと、前受金(流動負債・その他)が55百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて868百万円増加し、2,065百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により、106百万円減少したこと、第2回の新株予約権の行使されたこと及び第4回・第5回ストック・オプションの一部が行使や失効されたことにより、新株予約権が7百万円減少し、資本金、資本準備金がそれぞれ415百万円増加したこと並びに四半期純利益を152百万円計上したことによるものです。また、自己資本比率は前事業年度末に比べて5.5ポイント増加して34.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	974,959	1,512,197
売掛金	506,753	477,703
商品	63,444	100,551
貯蔵品	8,214	82,830
繰延税金資産	126,681	38,434
その他	312,118	342,466
貸倒引当金	△7,567	△662
流動資産合計	1,984,603	2,553,521
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	1,358,861	2,233,264
減価償却累計額	△389,226	△439,468
建物(純額)	969,634	1,793,796
その他	646,742	837,723
減価償却累計額	△410,049	△470,158
その他(純額)	236,692	367,565
有形固定資産合計	1,206,327	2,161,361
無形固定資産	58,794	66,265
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	772,283	1,080,150
その他	73,675	125,533
貸倒引当金	△11,543	△11,479
投資その他の資産合計	834,415	1,194,204
固定資産合計	2,099,537	3,421,831
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	101	—
繰延資産合計	101	—
資産合計	4,084,241	5,975,352

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,015,428	1,680,424
短期借入金	32,800	11,501
1年内返済予定の長期借入金	268,720	443,324
未払金	395,755	391,441
未払法人税等	52,378	27,489
役員賞与引当金	7,900	—
賞与引当金	—	19,999
資産除去債務	2,663	9,197
その他	234,859	335,474
流動負債合計	2,010,504	2,918,852
固定負債		
長期借入金	451,483	529,287
受入保証金	333,279	339,643
繰延税金負債	14,486	12,309
資産除去債務	70,762	106,481
その他	6,361	2,891
固定負債合計	876,372	990,612
負債合計	2,886,877	3,909,465
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	834,237	1,249,990
資本剰余金	114,750	530,503
利益剰余金	239,630	286,087
自己株式	—	△62
株主資本合計	1,188,618	2,066,519
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	365	△1,488
評価・換算差額等合計	365	△1,488
新株予約権	8,380	857
純資産合計	1,197,364	2,065,887
負債純資産合計	4,084,241	5,975,352

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,963,805	11,295,350
売上原価	2,909,110	6,162,635
売上総利益	3,054,694	5,132,715
販売費及び一般管理費	2,711,282	4,799,003
営業利益	343,411	333,711
営業外収益		
受取利息	140	166
受取配当金	103	103
受取賃貸料	3,891	3,891
協賛金収入	5,451	10,722
その他	3,288	4,205
営業外収益合計	12,874	19,089
営業外費用		
支払利息	6,963	8,121
社債利息	850	246
株式交付費	4,389	3,240
為替差損	1,109	5,221
その他	4,463	2,929
営業外費用合計	17,776	19,757
経常利益	338,510	333,042
特別利益		
新株予約権戻入益	497	17
違約金収入	—	11,717
特別利益合計	497	11,735
特別損失		
固定資産売却損	759	—
固定資産除却損	1,259	11,601
減損損失	6,384	21,481
特別損失合計	8,403	33,082
税引前四半期純利益	330,604	311,695
法人税、住民税及び事業税	64,177	72,757
法人税等調整額	△60,743	86,272
法人税等合計	3,433	159,029
四半期純利益	327,170	152,666



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

1. 平成26年2月14日開催の取締役会において、平成26年3月26日開催の定時株主総会に、次のとおり資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決されました。

## (1) 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として資本準備金の額を減少し、欠損填補に充て早期復配体制の実現を目指すものであります。

## (2) 資本準備金の額の減少の要領

減少する準備金の額

資本準備金 676,043千円

増加する剰余金の額

その他資本剰余金 676,043千円

## (3) 剰余金の処分の要領

減少する剰余金の額

その他資本剰余金 676,043千円

増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 676,043千円

2. 第3四半期会計期間において、第三者割当による第2回新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ112,556千円増加しております。

上記の結果、当第3四半期累計期間において資本金が112,556千円増加し、資本剰余金が563,486千円減少し、利益剰余金が676,043千円増加しております。なお、当第3四半期会計期間末においては資本金が834,237千円、資本剰余金が114,750千円及び利益剰余金が64,541千円となっております。

当第3四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

当第3四半期累計期間において、第4回、第5回のストック・オプションの行使及びマイルストーン キャピタル マネジメント株式会社から新株予約権の行使を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が415,752千円、資本準備金が415,752千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,249,990千円、資本準備金が530,503千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ 事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	3,470,687	1,527,851	942,345	22,921	5,963,805	—	5,963,805
計	3,470,687	1,527,851	942,345	22,921	5,963,805	—	5,963,805
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	583,222	107,254	122,411	△2,671	810,216	△466,804	343,411

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△466,804千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ペッパーランチ事業」及び「レストラン事業」において、当第3四半期累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては「ペッパーランチ事業」3,396千円、「レストラン事業」2,988千円であります。

当第3四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ 事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	3,857,775	1,868,374	5,537,931	31,269	11,295,350	—	11,295,350
計	3,857,775	1,868,374	5,537,931	31,269	11,295,350	—	11,295,350
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	686,078	137,145	245,318	△2,061	1,066,481	△732,769	333,711

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△732,769千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ペッパーランチ事業」及び「レストラン事業」において、当第3四半期累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては「ペッパーランチ事業」14,999千円、「レストラン事業」6,481千円であります。

## (重要な後発事象)

業績条件付募集新株予約権(有償ストック・オプション)の発行内容確定

当社は、平成27年9月28日開催の取締役会決議に基づき当社取締役、監査役及び従業員に対して、有償にて発行する新株予約権の発行内容のうち、払込が完了し、未定となっていた事項が平成27年10月14日に確定いたしました。

新株予約権の割当日(発行日)	平成27年10月14日
新株予約権の総数(個)	2,665(新株予約権1個につき100株)
新株予約権の発行価額(円)	新株予約権1個につき1,308 (新株予約権の目的である株式1株あたり13.08)
新株予約権の目的たる株式の種類および数(株)	当社普通株式 266,500
新株予約権の行使に際して出資される財産の額(円)	1株当たり 976
新株予約権の行使により発行する株式の発行価額の総額(円)	263,589,820
新株予約権の行使により新株を発行する場合の発行価額のうち資本金に組み入れる額(円)	1株当たり 495
新株予約権の権利行使期間	平成28年4月1日から平成31年4月30日まで
新株予約権の割当対象者および割当個数	当社取締役、監査役及び従業員 129名 2,665個